



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 7 月 1 日

第 3 号

芸術鑑賞会 ～雅楽の魅力たっぷり～

早いもので今日から7月。今年も半分が過ぎました。

さて、今回は、写真掲載の了解を得るために前号での掲載を見送った芸術鑑賞会（5月29日（金）相模女子大学グリーンホール）について掲載します。

開演の14時。ステージに東儀さんの姿は見えませんが、笙の音色がホールに広がります。するとフロアから狩衣姿の東儀秀樹さんが笙を吹きながら登場。



狩衣姿の東儀さんが龍笛を演奏

会場を魅了します。そして、第1部は、東儀さんによる雅楽のミニレクチャー。

まずは、雅楽の歴史について。続いて、雅楽の楽器「笙」「箏」^{しやう ひちりき りゆうてき}「龍笛」について。それぞれ「天」「地」「空」を表し、笙の音色は天から降り注ぐ光を表し

た音とも言われるそうです。まさに神秘的で澄んだ音色は天から降り注ぐ光のイメージ。息を吹いても吸っても音が鳴るため息継ぎの必要がなく途切れることなく音を鳴らし続けることができ、西洋のパイプオルガンやアコーディオンのルーツであるとの説明に驚いた生徒も少なくありません。また、今回最も多くの曲を奏でた箏は、地上の音を象徴し、雅楽の楽器の中では最も小さい楽器ですが、中心的な役割をする縦笛。そして、龍笛は、雅楽の代表的な横笛で、その音色は龍の鳴き声を模したものとも言われ、天と地の間の空間を象徴しているそうです。雅楽では、この3つの楽器を合奏することが基本となり、それは「天」「地」「空」を合わせる、つまり、宇宙を創ることと考えられているというお話に、心に響く音色や雅楽の魅力を一層感じたのではないのでしょうか。また、これまで古文の教科書や図版の中での知識に留まっていた狩衣や笙、箏、龍笛を実際に見たり聴いたりし、さらに古文や日本の文化についての理解が深まったことと思います。



本校生徒が果敢に笙に挑戦。東儀さん箏とコラボ。

第2部では、東儀さんの衣装も現代のものに変わり、ご自身の演奏を録音したシンセサイザーをバックに箏で「JUPITER」、「翼をください」、「ハナミヅキ」、「キセキ」(GReeeeN)、「夜空ノムコウ」等を演奏。素晴らしい演奏とともに軽妙でありながらメッセージ性のあるトークも楽しませていただきました。

お父様の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、その経験に基づく「語学力よりも文化力」というお話や奈良時代から雅楽を世襲してきた楽家である東儀家ではあるけれど幼少時から雅楽を継ぐつもりでいたわけではなく、高校まではロック、クラシック、ジャズ等あらゆる音楽を吸収しながら成長し、やらない

で判断することはやめようという思いから19歳で雅楽を始めたお話、そして、「今でも自分の知らない自分に出会えるワクワク感」、「人と比べるのではなく、自分を大切に」、「一音一音後悔しないよう瞬間を大切に愛くしんでいる」など、心に残る言葉は枚挙に遑がありません。一人ひとりが自分なりに受け止めたメッセージを大切にしてください。そのほか、本校生徒が笙に挑戦し、東儀さんの箏とコラボする場面や本校の校歌を東儀さんが演奏すると思わず会場から手拍子が広がったりする場面もありました。また、当日誕生日だった友だちを祝いたい生徒の希望に応え、誕生日を迎えた生徒がステージで笙を吹かせてもらい、それに合わせて東儀さんが箏で「Happy Birthday to You」を演奏してくださるなど、和やかで一体感のある芸術鑑賞会となりました。芸術鑑賞会後の生徒のアンケート結果からも、今回の芸術鑑賞会をとおして、雅楽の魅力が十分に伝わり、さらに生徒の皆さんの世界が広がったことと思います。

全公立展 そして 6期生同窓会

◆◆全公立展

6月6日（土）にパシフィコ横浜で恒例の全公立展が開催されました。当日は、本校ブースでボランティアの生徒6人が朝早くからの準備やチラシの配布、説明などに大活躍。当日の全体の入場者数は37,000人。本校のブースにも多くの中学生や保護者の方が来てくださり、約9,100枚のチラシを配布しました。

◆◆6期生同窓会

当日、偶然にも同じパシフィコ横浜で本校6期生

(昭和57年3月卒)の同窓会があり、本校のブースを訪ねてくださった幹事の方のお誘いを受け、全公立展終了後、同窓会会場であいさつをさせていただきました。約140人が参加し、6期生の皆さんの日ごろの活躍が伝わる活気あふれる同窓会でした。本校の近況を伝えるとともに生徒全員での「市高最高!」についてお話したところ、同窓会の最後を「市高最高!」で締めくくられたとのこと。素晴らしい先輩方の社会での活躍を在校生が伺える機会を是非作りたいと思います。

谷本川護岸堤にて花植えボランティア ～中学生・地域の方とともに～



中学生や地域の皆さんとともにポットの花を護岸堤に植える作業



花植え作業後の護岸堤



6月27日（土）の9時から本校裏手すぐの谷本川護岸堤にて花植え作業が行われました。この作業は、年2回、6月下旬と11月下旬に地域のボランティア団体「市ケ尾コスモス会」の皆さんがあざみ野中学校のボランティアの生徒の皆さんや地域の方たちとともに、今年で11年目になります。本校にも声をかけてくださいますが、残念ながらこれまでは1、2名の参加に留まっていました。

しかし、今年は、ボランティア委員、生徒会関係、野球部関係から合わせて6名の生徒が参加したほか、教頭先生、久重路先生も参加。あざみ野中学校の副校長先生や生徒の皆さん、地域の方などとともに花植えをしました。花植え後の護岸堤は、華やぎのある風景に一変しました。明るい花が一面に広がるのが楽しみです。

気づいていますか？「今日の英単語」

すでに多くの皆さんが気づいていると思いますが、昇降口を入れて突き当たり、被服室前の掲示板に「今日の英単語」が毎日掲示されています。4月13日（月）から始まり、7月1日（水）現在52語。毎日写メする生徒の姿も見受けられます。これからは是非「今日の英単語」に注目してください。ちょっとした工夫や隙間時間の積み重ねが基礎力を鍛えます。この機会に自らの日常の取組みを見直してみてください。

ところで、毎日掲示して下さっている先生がどなたかわかりますか。ヒントは、毎日掲示されるプリントの中にあります。



毎日貼り替えられる「今日の英単語」

試合の応援に行ってきました

*試合名は略称

■ 6月7日（日）：男子バレーボール（インターハイ県予選）

2回戦の相洋高校戦は落ち着いたプレーで25：10、25：6で勝利。3回戦の対戦相手は、5月の関東大会県予選3回戦でも対戦した強豪川崎市立橋高校。本校チームは、第1セット9：25、第2セット17：25と敗れはしたもののスパイクが気持ちよく決まる場面も多々あり善戦。前回よりもさらに6点多く取り、また一步、橋高校に近づきました。橋高校は今年度もこの大会で優勝。3年連続7度目のインターハイに出場します。



6/7（日）男子バレーボール
インターハイ県予選3回戦
（VS市立橋）

■ 6月13日（土）：女子バスケットボール（インターハイ県予選）

ブロック決勝戦の対戦相手は5月の関東大会県予選で3位だった相模女子大高等部。前半27：32とリードされましたが、第3ピリオドで41：39と逆転。しかし、接戦の末51：51で延長戦へ。延長戦でも緊迫は続きましたが、55：53で本校チームが見事スーパーシード校を敗ってブロック優勝。念願の決勝リーグに進出を決めました。この大会でスーパーシード校を敗ってのブロック優勝は、男女合わせて本校だけです。



6/14（日）NHK杯全国高校放送
コンテスト県大会 朗読の部 本戦

■ 6月14日（日）：放送委員会（全国高校放送コンテスト県大会）

本校生徒は、アナウンス（1名）、朗読（3名）、創作ラジオドラマ（1名）の3部門にエントリー。その中で、最も出場者が多く激戦の朗読の部に出場した保原結奈さん（3年）が、初出場ながら予選を通過し、本戦（決勝）に進出。入賞は逃しましたが、瀬尾まいこ作『図書館の神様』をさわやかに朗読しました。

■ 6月21日（日）：女子バスケットボール（インターハイ県予選）

決勝リーグ第3戦。対戦相手は5月の関東大会県予選でも対戦した秦野高校。第1ピリオドは10：9と1点リードで終えましたが、第2ピリオドでリードされ20：25。第3ピリオドで33：41と点差が開いたものの第4ピリオドで追い上げましたが追いつけず39：44で惜敗。インターハイ出場には至りませんでした。今回はベスト4入り。着実に全国大会出場への夢に近づいています。



6/21（日）インターハイ県予選
決勝リーグ第3戦（VS秦野）
写真提供：押山亜葵子さん（3年）